

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

(多施設共同研究用)

西暦2020年 3月19日作成 第1.1版

研究課題名	日本外傷データバンクへの患者登録と登録データを用いた臨床研究
研究の対象	2016年7月11日以降 日以降 に高度救命急センターに入院された患者さん
研究目的 ・方法	外傷は子供や若年層の死因の第1位、2位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。外傷の診療の質を評価し、向上させることは外傷による死亡率を低下させるために重要です。本研究では、外傷診療にかかわるデータを全国の医療施設（主に救命救急センター）から収集し、各医療施設の診療の質評価や、診療行為の効果を評価するための分析を行います。施設ごとのデータを全国データと比較することにより、各施設の診療の現状を評価することが可能になり、診療の質向上に寄与することができます。さらに、集積されたデータを分析することにより、診療行為の効果や診断の精度を評価し、外傷診療システム全体の向上に寄与することが期待できます。本研究の対象となるのは、全国の救急医療施設を受診され、重症外傷を有する患者様です。個人を特定できる情報を除外した形で患者情報・データを登録します。登録はインターネットを用いた入力により行います。
研究期間	西暦2017年 9月29日 ～ 西暦2023年 3月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	患者基本情報（年齢、性別受傷日時など）、受傷機転、病院前情報（現場バイタルサイン、処置など）、転院搬送情報、来院時情報（バイタルサイン）、既往歴、検査所見、救命処置、輸血、手術、診断名（AISにより分類しコードを登録する）、合併症、入院退院情報（入院先、入院日数、退院先、死亡など）、退院時機能評価
外部への 試料・情報の 提供	日本外傷データバンクによって設置された専用のウェブサイト（アカウント、パスワードにより保護）上で、データを入力することで情報を提供します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	該当しません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	防衛医科大学校（研究代表）ならびに日本外傷データベースへの参加登録した医療施設
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター（研究責任者）竹内 一郎 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-9913 主機関：防衛医科大学校 外傷研究部門 斎藤 大蔵</p>	